

第 29 回議会報告会 報告書

地 域 名	養父地域			
年 月 日	令和 8 年 4 月 24 日 (金)	会 場 名	ふれあいセンターやぶ	
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 10 分	
参 加 数	男性 34 人	女性 0 人	合計 34 人	
班 長	浄慶耕造	司 会 者	浄慶耕造	
報 告 者	深澤 巧、川瀬 稔、塚本正彦	書 記	浄慶耕造	
班 員 名	浄慶耕造、深澤 巧、川瀬 稔、塚本正彦			
	市 民		対 応	
報告に対する質疑・意見交換会での意見	① 八鹿病院に対し市から多額の資金が必要となっているが、地方税の税率を上げないと収支バランスが取れないのではないかと。養父市は固定資産税や市民税について標準税率だが、豊岡市は超過課税を行っている。	① お話は伺った。		
	② 病院のあり方については但馬全域で考えるべきだ。PET-CTについても豊岡病院も利用するので連携を深めればよい。タッグを組むことも必要だ。議会はどのような考えで予算に賛成したのか。	② 八鹿病院はコロナで補助金が出た 2 カ年を除いて赤字だ。特にこの 3 年は医療収益が上がらない中で、急激な人件費や医療資材の値上がりで 20 億円近い大幅な赤字を出した。全国の公立病院の状況を見ても 3 年間の限定期間で経営が改善できるものではない。10 年～15 年の市の財政計画に病院支援を組み込んで、市と病院が一緒になって立て直すべきと考えている。		
	③ 養父グンゼの跡地利用について、市長は八鹿病院にお金を持っていかれて余裕がないと言われている。議員はどのような考えか聞きたい。	③ ・「人口が減った、財政に余裕がない」と言っ て事業をやめれば、今は助かるが延命だけだ。この計画が目指すベンチャー企業の集積は将来への布石だ。 ・「八鹿病院に金がかかる、管理会社に金がかかる、だからやめる」という計画性のなさ、予見性のなさを感じる。計画自体に不安があった。再構築すべき。		

市 民	対 応
<p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; left: 150px; top: 450px;">意見交換会での意見</p> <p>④ 「知と創造の拠点」＝養父ベンチャーズビレッジ構想に大きな期待を寄せた。しかし今、一旦中止が検討されている。それなら住民説明会をするべきではないか。グンゼの跡地利用問題が消滅し、小学校は廃校になり、こども園も同時に廃園にする。養父地区はどうなるのか。この地域の活性化の代替案を示すのならともかく、ただ財政の問題で中止しますでは済まない。</p> <p>⑤ 学校給食の調理配送の民間委託はなぜやろうとしているのか。議会の対応は。財政的な問題だと思うが、コストに関しては民間の方が厳しい。例えば食材の原価を抑えるとか、食器洗浄の手を抜くとか、あってはならないのだが、コスト重視になるためにトータルとして質が落ちるのではないか。学校給食が無償化になっても質が落ちるのなら、いかがなものか。</p>	<p>・養父市場の活性化をかけて基本計画まで進んだ。住民参画のモデルだった。養父ベンチャーズビレッジ構想は 10 年先の養父市経済をどうするのかという全市的な長期戦略だ。スタートがなければ永遠に結果はない。</p> <p>④ 市長も完全に中止と言っていない。産業政策をどうするかでは揺れていると思う。ただ、中間組織に委託してベンチャー企業を集めるという手法に金がかかりすぎるのは事実で、それに代わる方法を地元地域もわれわれ議会も考えを出し合って、この計画を復活させなければならない。そもそも財源を示さない計画がありえないわけで、計画を進めるためにも事業の見直しと再構築が必要であると考えている。</p> <p>⑤ 端的に言えば人件費の削減をしたいということだ。教育委員会は「献立作り・食材の購入」はこれまで通り栄養教諭が行う、調理配送の労務が変わるだけだという。それではコストがどこで下がるのか。管理費という名目で民間企業の要求が高くなることはないのか。十分な説明がない中で、議会としては意見が分かれたが、現状では民間委託を認めないという修正案が可決された。</p>

	市 民	対 応
意見交換会での意見	<p>⑥ 4月の人事異動で実績を上げていた職員が給食センターから異動になった。民間委託を見越した人事だったのか。</p>	<p>⑥ 人事のことは分からないが、全国学校給食甲子園で優勝した時は、栄養教諭とベテランの調理員が決勝大会が行われた東京で実際に調理されたと聞いている。今皆さんから出たような不安がある中で、十分な説明が議会に対してなかった。だから債務負担行為（後年度の予算の確保）から削除する修正をした。今後議会としては、総務文教常任委員会でいろいろなところを視察したり、公聴会を開いたりしてじっくり構えて取り組みたい。</p>
その他（提言など）	<p>① 農家の高齢化が進んでいる。10年先の養父市の農業の将来像をどのように描くのか。食える農業を作るためには、農地の集積が必要だ。</p> <p>② 自転車の交通違反について、4月から青切符制度が導入されることから、ルール周知への取組を求める一般質問がされた。ぜひ小中学生の交通安全への意識を高めてもらいたい。</p> <p>③ 但馬家畜市場が右岸道路にある。但馬牛の最大の流通拠点である。JAと相談して看板を設置し、ふるさと納税の促進に活用できないか。</p> <p>④ 縁結び奨励金が5万円から10万円になった。いいことだ。成婚に至らずとも取り組んでくれた人に手当を出してほしい。</p>	<p>① ひとつは若手の就農者を増やす取組。農地、農業機械、指導者、住居を準備する。もう一つは20ha程度の大型農家で雇用を実現しながら農業後継者を育成する政策が必要だと考えている。</p> <p>② ご意見はお聞きし議会活動の参考にする。</p> <p>③ ご意見はお聞きし議会活動の参考にする。</p> <p>④ ご意見はお聞きし議会活動の参考にする。</p>

市 民	対 応
<p>⑤ 空き家対策について、なかなか現状が変わらない。市の方で持ち主を尋ねて、「解決する方法を一緒に考えてほしい」という提案や指導を行ってほしい。農地も同様な問題がある。農業委員会とも合同で考えてほしい。</p> <p>⑥ 集会所の改築補助が 100 万円あるが、この金額では維持・補修に大変困っている。</p> <p>その他（提言など）</p>	<p>⑤ ご意見はお聞きし議会活動の参考にする。</p> <p>⑥ ご意見はお聞きし議会活動の参考にする。</p> <p>【議会からの提案】 養父小学校が令和 10 年度末で統合するという「答申」が出ている。地域のあり方につながる問題である以上、地域の方と話し合いをせずに進めるということは議会としてしたくない。昨年度、議会改革推進特別委員会ではテーマを絞った議会報告会に取り組んだ。これから教育の問題・学校統合の問題は養父地域だけではなく大屋も関宮も直面してくる。令和 9 年度には関連した予算の上程も考えられる。議論なしに進んでいくことが一番のマイナスだ。第 1 弾としてこの養父地区での意見交換会を提案した場合、ご協力をいただけるか。（賛成の声）是非よろしくお願ひしたい。</p>
<p>備考 なし</p>	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和 8 年 5 月 15 日

報告者 3 班 班長 浄慶 耕造